

【法令研修】安全計画研修

実施日 年 月 日 事業所名

名前

目次

【法令研修】安全計画研修

1

安全計画とは

2

施設・設備の安全点検

3

研修・訓練の実施

4

児童への安全指導

5

再発防止策

6

終わりに

- ▶ “安全計画”とは、児童の安全を守るために策定する、事故防止の
取り組み計画

【 計画で求められる主な取り組み 】

- 施設、設備の安全点検 : 定期的なメンテナンスとチェック（施設の外の道路・公園等もチェック）
- 研修、訓練の実施 : 災害（火災・地震・不審者）を想定した避難訓練、救急対応訓練
- 安全指導 : 児童に対する安全教育
- 再発防止策 : ヒヤリ・ハット（事故になりかけた事例）や同業者の事故情報の
“収集”・“分析”・“対策”

▶ “施設・設備（よく行く公園や道路等）の安全点検”のポイント！！

【施設・設備】

- ・災害時の防災用具（ヘルメット、食料等の備蓄）
- ・室内遊具、階段、柵、水回り、暖房器具 ... 等
- ・滑り止めマットの設置
- ・転倒時の衝撃吸収マット
- ・指挟み防止ストッパーの設置
- ・ガラスの飛散防止フィルム貼付
- ・家具の転倒防止固定
- ・コーナーガードの設置
- ・遊具や玩具の消毒、手洗い・うがいの徹底
- ・門扉の施錠管理、防犯カメラの設置、インターフォン

※ これ以外にも危険な場所を発見したら、管理者に報告したりヒヤリハットノートに記入し共有しましょう。

▶ “施設・設備（よく行く公園や道路等）の安全点検”のポイント②

【 道路や外出先、公園など 】

- ・ 歩道のあり無し
 - ・ 車の通行料
 - ・ 横断歩道、歩道橋
 - ・ 踏切や水辺等の危険箇所
 - ・ 公園内の遊具の破損の確認
 - ・ 公園やお出かけ先の混雑具合
 - ・ 公園の危険箇所
 - ・ 出口の数
 - ・ 地面のすべりやすさ
 - ・ 工事をしているか ... 等
- ・ 天候（気温等）

※ これ以外にも危険な場所を発見したら、管理者に報告したりヒヤリハットノートに記入し共有しましょう。

- ▶ “施設・設備（よく行く公園や道路等）の安全点検”で危険個所を
考えて記入してみましよう

- ・ 消火器がない？
- ・ 滑りやすい箇所がある
- ・ 子どもが登りそうな柵がある

※ ここで記入したものは、自所の安全計画作成時に、事業所内で話し合う材料にしましょう。

- ▶ “安全計画” で取り組まなくてはならない研修や訓練には何があると思いますか？

・ 消防訓練

▶ “研修”

- 安全計画の研修例
 - ・ 不審者対応
 - ・ 救急対応
 - ・ 送迎時等の事故対応
 - ・ アレルギー対応
 - ・ 外出時の安全管理 ... 等

▶ “訓練”

各法律に基づき、年 2 回以上の消防・避難訓練と
年 1 回以上の事業継続計画（BCP）に基づく訓練が義務化されている

▶ “児童への安全指導” とは

児童が日常で自分の力で自分の安全を守る方法、
また緊急時にも適正な行動をとり、身の安全を守るための指導

生活安全：防犯（不審者対応）、身の回りの危険予測と回避

交通安全：事故防止、交通ルール・マナーの遵守

災害安全：地震、津波、火災、風水害時の避難行動、防火防災訓練

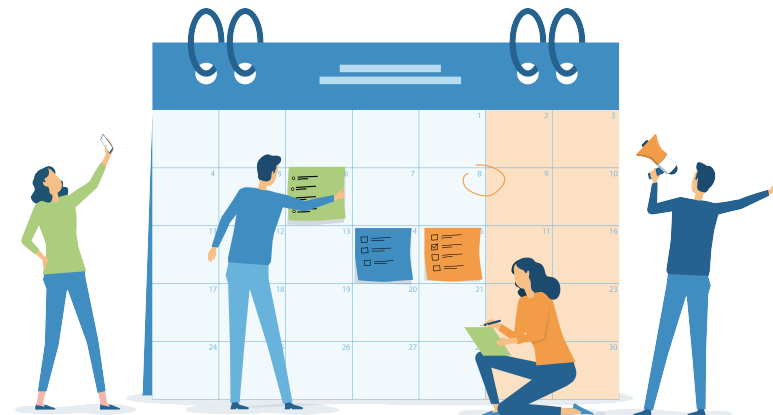
健康安全：安全な環境作り、疾病予防

その他：乗車中のシートベルトの装着 ... 等



▶ “再発防止の取り組み”

- ① ヒヤリハット記入ノート及び、事故報告書の作成
- ② ミーティングでのヒヤリハット及び、事故報告書の職員への共有
➡ 再発防止に向けて、事業所内での対策を話し合う
- ③ 事故発生においては、報告書の内容と対策を家族や関係機関と共有する
- ④ 場合によっては、安全計画の組み直しや、緊急での研修を行う



終わりに ...

安全計画は、一年を通しての研修や訓練のスケジュール計画にとどまらず、事業所内や地域の特徴、利用者の方の特性を踏まえた上で、安全を守るための総合的な計画になります。

全ての、研修や訓練を横断する幅広いものになりますが、計画作成によって、しっかりと安全が守られるものにしていきましょう。

また、研修時や訓練時のみではなく、常日頃から安全意識を持ち、事業所の安全を守っていきましょう。

ご視聴、ありがとうございました。

